



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

BF, Igo, STEP

— 主題 —

国際会長
アジア会長
東日本区理事

北海道部部长
札幌クラブ会長

「輝かそう、あなたの光を」
「変革のための光となろう」
「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信と喜びを感じる機会を！」
「楽しく仲良く活動しよう」
「充実した人生を送るためのワイズ活動」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)
古賀 勝己 (北見)
小野 健 (札幌)

札幌クラブ役員
会長 小野 健
副会長 小谷 和雄
書記 山崎 修
会計 秋葉 聡志
直前会長 伏木 康

今月の言葉

不立文字 一休禅師「一行書」

本宮 大輔選

巻頭言 「ウエルネスで繋げる～YMCAと地域とワイズ」担当主事 北川佳治



私が現在所属しております札幌 YMCA ウエルネスセンターでは、地域の小学校へ水泳および水上安全の出前授業を行っています。ここ数年、その需要と YMCA の認知度が上がり、依頼校が増え、2023 年度実績で

は、5 校延べ 3,000 名以上の児童に授業を行いました。同様に冬季は、スキー授業の依頼も増えてきており、2022 年シーズンは 2 校の依頼を受け、2023 年シーズンはもう 1 校増える予定です。

また、地域の幼稚園・保育園に対しては、体育指導で出向いておりますが、そちらの需要も増えてきております。

このように、ウエルネスセンターとして、地域との繋がりが年々増加傾向にあります。私たちのリソースを地域に活かせることは、非常に喜ばしいことで、可能な限り、協力・連携体制を整えていく計画を持って

います。

このような状況において、今後繋げていきたいのが、ワイズの関りです。ワイズには、現在、YMCA 内の活動に対して様々な関りをいただいておりますが、YMCA と共に YMCA の外で、地域と共同する活動にも関わってもらいたいと考えます。

YMCA が掲げる「ポジティブネットのある豊かな社会」の創造を一層加速させる目的においても、YMCA と地域とワイズが繋がることに意味があると考えます。

また、このことにより、YMCA・ワイズ双方の存在意義が強められるとも考えます。

その担い手部門として、ウエルネスセンターが先頭に立ち、繋げていきたいと思ひます。



2023年10月例会
出席報告

在籍会員 13名 出席者 10名 ネット 0名 メーカーアップ 0名
ゲスト 3名 ビジター 1名 出席者合計 14名 出席率 77%

札幌ワイズメンズクラブ 2023年11月例会

日時：2023年11月21日（火）18:30～20:30

会場：北海道YMCA 101教室＋リモート

会費：1,000円

司会 山崎 修

- ① 開会点鐘 会長 小野 健
- ② ワイズソング、ワイズの信条 全 員
- ③ 今月の言葉・なぜこの言葉を 本宮 大輔
- ④ 開会あいさつ 会長 小野 健
- ⑤ 誕生日 11月26日 熊 敏彦
- ⑥ 結婚記念日 11月 9日 熊 敏彦・加代
11月11日 小谷和雄・由子
- ⑦ 卓話

★「ベトナム・ボランティア・ワーク」

リーダー、7～24回参加、小学校教員 伊藤 徹
札幌YMCA職員 佐藤 雅一
引率責任者、帯広YMCA職員 川口 豊

- ⑧ 諸報告
- ⑨ YMCA報告 担当主事 北川 佳治
- ⑩ 今月の歌

「遠くで汽笛を聞きながら」



(秋葉聡志選)

閉会点鐘 会長 小野 健

札幌ワイズメンズクラブ10月例会

日時：2023年10月17日（木）18:30～20:30

場所：札幌YMCA101教室

参加者：小谷、小野、北川、柴田、中田、伏木、
宮崎、本宮。

以下 on line 秋葉、熊、山崎、
ビジター：二本松（北見）オンライン
ゲスト（卓話者）：菅、藤野、湯井

出席者合計 14名

9月29日から山中湖で行われたYVLF（ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム）の報告に参加された菅遥香さん（北大）、藤野結衣（札幌医大）と湯井達海（スタッフ）からお聞きしました。まったく未知の人々が集まり、学び合い、語り合い、きずなを見出し、3日の後に涙を流して抱き合い別れるというお話を聴き、私たちワイズの活動にも大きな刺激を受けました。（p.3参照）

今月の「強調月間」

▼BF（Brotherhood Fund）

他の地域を3週間以上訪問し、理解と親睦を深めるBF代表支える資金。昔は古切手でした。

▼STEP（Short Term Youth Exchange Program）

18～25歳のワイズの子弟（or ワイズユース）を3～12週間、海外に派遣し、ワイズ過程で異文化を体験させるプログラムです。

何故このことばを！ 本宮 大輔

私のいくつかある座右の銘の1つです。

「文字（で書かれたもの）は解釈いかんではどのようにも変わってしまうので、そこに真実の仏法はない。したがって、悟りのためにはあえて文字を立てないという戒め」と辞書には書いています。

この言葉を知ったのは、テレビで著名人がインタビューに答えたときに言っていたことでした。カッコよくピシッと発した言葉に衝撃を受けました。調べてみたら、とても感銘を受けた次第です。中身もいいし、言葉の響きもいい。座右の銘に使うにあたって、最適です。実際にこの言葉とともにあると、「伝えること・伝わること」を考えると、思いがよぎります。特に人材育成、それも組織づくりが絡むときには。

兎角人は伝えたいが、教えたがるように思います。受け取り側の背景によって切り取られる学びが異なるにも関わらず、思い通り伝わらないことに落胆する経営者・研修担当者たちを数多く見てきました。その度に、この言葉を引き出し、自分自身を戒めます。言葉だけでは伝わらない。

「不立文字」「学び手は常に正しい」。学び手の振り返りの言葉を聞きながら、この言葉を思い、祈る日々です。

何故この歌を！ 秋葉 聡志

先日亡くなった谷村新司が若い頃結成していたグループ「アリス」の楽曲です。アリスは、高校時代から大学時代にかけて、リアルタイムのグループでした。YMCAに入職したての全国新人研修で、当時まだカラオケがポピュラーではない時代、2次会のスナックで周ってきたマイクに、とっさに選曲し唄った曲がこれでした。チンペイ（谷村）がパーソナリティをしていたセイ・ヤングという深夜放送をよく聞いていました。谷村新司を追悼し、選びました。

2023年「YVLF」報告 (Youth Volunteer Leaders Forum)

フォーラムでみつけた私の役割

菅 達彦(リーダー・ネーム はる)

3日間のフォーラムは私にとってかけがえのない経験になりました。初日は初対面のリーダー達と打ち解けられるか不安でした。アクティビティやグループ活動を通して徐々に打ち解けていき、楽しい3日間はあるという間に過ぎました。最初感じていた不安が嘘だったかのように最終日にはグループの仲間と固い友情が生まれ、離れる寂しさが胸が一杯になりました。グループでの活動は私のYMCAの活動に対する捉え方を変えました。フォーラムに行く前はリーダーの役割は子供たちが楽しく安全に活動できるようにサポートすることだけだと思っていました。しかし、メンバーの子供達に真摯に向き合う姿勢に刺激を受け、個性豊かなメンバーと関わり自分と相手との「違い」の素晴らしさを再認識しました。また、普段とは逆の立場でキャンプに参加し、子供達とリーダーの関わりの重要性を実感したことで活動に対する軸のようなものが自分の心の中に生まれました。子供たちが活動を通して何かひとつでも成長できるように、子供達がそれぞれの「違い」をお互いに尊重しあえる関係づくりへのサポート、そして一期一会の出会いから育まれる友情があることを活動から実感できるようにすることが今の私の軸であり役割だと考えています。フォーラムを通して得ることができた活動に対する軸を大切に、これからのYMCAの活動に真摯に取り組んでいき、さらにより良いものにできるように自分から積極的に行動していきたいです。

来年もYVLFへ! 湯井達海(YMCAスタッフ)

今回のユースボランティアリーダーズフォーラムには東日本区のユースリーダーが合わせて32名の参加と参加させていただきました。東京YMCAが主催となり9月29日金曜日から10月1日日曜日の2泊3日で山中湖センターにて開催されました。山中湖センターは全面バリアフリーとなっており体の不自由な方でも利用がしやすいキャンプ場となっていました。フォーラムでは「わたしたちの みつかる つながるよくなっていく」というテーマを掲げており、1日目はこのテーマをもとに基調講演を拝聴しグループ内で意見交換をしながら理解を深めました。

2日目はビッグカヌー体験やキャンプファイヤーを実施し、リーダー同士の絆を深めることができました。

最終日には基調講演を受けてグループ討議を経た結果をそれぞれのグループが個性あふれる発表をしました。

フォーラムへの参加を通して、リーダーの意識が田あまり、これまで希薄化していたリーダー会も再開させることができました。この度はフォーラムへの参加についてご支援いただき大変感謝しております。



YMCAとの、仲間との出会い

藤野 結衣

私がYMCAに出会ったのは約12年前です。小学生の長期休みは必ずと言っていいほどYMCAのキャンプやスキープログラムでお世話になり、いつ行っても楽しかった思い出ばかりです。そんな気持ちにさせてくれたリーダーの姿に憧れを抱いていた私は、大学生になってからリーダーという形で再びYMCAに戻ってきました。

そんな中、周りの方に背中を押していただきフォーラムに参加することになりました。初めは不安もありましたが、東日本各地から集まったリーダーたちとの出会いはとても刺激的で、一生の記憶に残るような3日間となりました。

3日間の中ではYMCAのスローガンであり、フォーラムのテーマにもなった、「みつかる。つながる。よくなっていく。」について、グループの仲間と議論を重ねました。1つの議題に対してこんなにもたくさんの時間をかけ、たくさん頭を悩ませたことは初めての経験でした。また、食事の時間、ビッグカヌー、キャンプファイヤーなど、仲間と過ごした時間のすべてが今でも鮮明に思い出されます。

フォーラムに参加することでしか得られなかった貴重な経験や出会いをすることができ、あの時参加することに決めて本当に良かったと心から思います。



ワイワイ夕食。左端 山田公平東日本区理事

札幌クラブ会員 過去、現在、未来、そして願い、夢、を語る その3

「You Must Come Again」 本宮 大輔

リーダーを卒業するときに送られた言葉です。頭文字を取ると YMCA になります。直訳すると「きみは戻ってこなければならない」。私の場合、つかず離れず、年数回スキープログラムに関わりつつ、前を通ったときに立ち寄り、職員のみなさんと雑談するくらいの関わりを 20 年ほどさせてもらいました。そして、この度、縁ときっかけがあつて、Y's の仲間入りをさせていただきました。

研修講師という職業柄「能力を開発し、人材を育成する」というテーマと日々向き合っているわけです。この営みをしていく中で、YMCA での活動で発見したこと／気づきとしてもらったものが数々と思ひ出され、生業に活かされていることを実感しています。年齢も 40 後半になり、「職業人生の後半戦で、この世の中にできること」についてモヤモヤと考えているところでしたので、Y's へ関わり始めるときだったのかもしれない。

私は、またここに戻ってきました。久々に定期的に YMCA へ通うことは、リーダー時代とは違った充実感を味わっております。

「多様性を大事にしましょう」と言われるようになって久しいですが、実際にそれを受け入れ、実行に移し、多様な人々が自分らしさを実感しながら、活躍できている現場はどれほどあるのでしょうか。声は聞こえど、実態はまだまだような気がしてなりません。ここに戻ってきて感じる、YMCA 独特のワチャワチャした感じに自分自身の若き日々と、これからの世界のあり方について光を示しているように思うときがあります。

「世界を変えるために、いま自分にできること」。ありがちなキャッチフレーズですが、実現するように微力を尽くせたらと思っています。これからもよろしくお祈りします。

「ワイズは学びの場」 中田 靖泰

東京のワイズの友人から「東京の名門クラブの例会に出席したが、会員の出席が 5~6 名で、ビジターを入れても一桁の淋しい例会だった」という淋しいメールが来ました。しかも来期の役員を引き受ける会員がおらず、このままでは解散化、近隣クラブと合併する他ないだろうとのことでした。これはおのクラブに限らず多くのクラブの共通の悩みであるらしい。

その解決策は、クラブに対する考え方を考えることだと思います。ワイズメンズクラブを「自分も年齢を重ねて暇もすこし出来たから青少年のためになにかしてやろう」という、上から目線で捉えるのではなく、「青少年と共に、自分も学び、視野を広げ、成長していこう」という「ワイズは自己研鑽、学びの場」と捉えるのであれば忙しい人にはワイズは、特にワイズの役員は重荷以外の何物でもありません。

私自身もワイズのクラブ会長や部長、東日本区理事を務めたころは人生で最も多忙な時期でした。しかし、ワイズの役職を引き受けたために、本務がおろそかになったという覚えはありません。むしろ青年の情熱や、他の業種の人々の考え方に学ぶことの方が多く、本務の役に立ったと思っています。ワイズに入らなければ決して出会わなかったであろう友人を日本中に、いや世界中に得ることが出来たのは大きな財産だと思っています。

東京のクラブも会員が多忙を理由に辞退するだけでなく、クラブの方が「あの人は忙しいから無理だろう」と遠慮してしまっていることの方が多いのではないのでしょうか。

札幌クラブの小野会長はよいお手本です。勤務地のアプリカと札幌を往復しながら会長職を見事に勤め、「仕事だけでは得られなかった経験をさせて頂いている」と喜んでおられます。

これを東京のクラブに教えてあげようと思っています。札幌クラブもこれから忙しい人を選んで役員になって頂きましょう。



左： 札幌クラブ
10月例会

前列左から、
中田、菅、
藤野、小野、木田

後列左から。
柴田、湯井、伏木
本宮、宮崎、北川

安田文子 時計台コンサート ~琴とのコラボ~

今年の「時計台コンサート」は趣向を変えて日本の琴とのコラボです。
想い出多かった2023年、ショパンと琴の絶妙のコラボで締めめくって下さい！

時計台コンサート KOTO Ensemble ARMERIA & Ayako Yasuda Concert
琴アンサンブル「アルメリア」& 安田文子 コンサート

2023年 **12月13日(水)**
19:00開演(18:30開場)
札幌市時計台ホール
 (札幌市中央区北1条2丁目)

特典付プラチナ席 3,000円 幸
 S席 2,000円

Program
安田文子 ピアノ演奏
 ショパン作曲 Chopin
 ノクターン 第2番 変ホ長調 Op.9-2
 子午のワルツ、自編即興曲
 ノクターン 第20番 嬰ハ短調 演奏
 「レント・コン・グラン・エスプレッジオネ」
 英雄ポロネーズ

琴アンサンブル「アルメリア」 琴演奏
 さくら目の歌 筑城の月
 浜辺の歌 出船
 宵待草 母さんの歌
 ふるさと 五木の子守唄
 川の流れるように 幕 ※予定

チケット販売所
 オンラインチケットTGET

お問い合わせ TEL: 0570-00-3571
 札幌市民交流プラザサトウセンター
 北海道YMCA TEL: 011-561-5217
 札幌アイゴイデオンオンラインストア
 オンラインチケットTGET: https://tget.net/events/279090

Profile

琴アンサンブル「アルメリア」 (琴)
 KOTO Ensemble ARMERIA KOTO

1995年 作曲家 下村道子をリーダーに12名の邦楽教授者で結成され、古典は勿論、あらゆるジャンルの音楽を幅広く演奏し、全国を精力的に活動している。海外公演は台湾・アメリカ・中国で行っている。日本古来の琴の他、十七絃・ソプラノ琴・ベース琴によるアンサンブルでコンサート時には、サクソ・ピアノ・ドラム・シンセサイザー・ギター・パーカッション等の洋楽器を交え、オーケストラの様な音量と迫力満点の音色と音域で今までにない華の世界を繰り広げている。

安田文子 (ピアノ)
 AYAKO YASUDA Piano

札幌市出身。7歳より達磨道子氏の指導を受け始める。東京芸術大学音楽学部器楽科を卒業後、ポーランド国立ワルシャワショパン音楽院にてディプロマ取得。ピョートル・ハレチニ氏に師事。アントニー・ウィット指揮、ポーランド国立交響楽団、ポーランド国立クラコフ交響楽団、ポーランド国立シレジアフィルハーモニー管弦楽団等と共演。ポーランドと日本を中心に演奏活動を行い、ショパンの生家ジェラソヴァ・ウォラ、ワルシャワのワジェンキ公園、札幌市民ロビーコンサート、各地の病院、福祉施設でのコンサートなど、音楽を身近に親しめる機会を提供している。

ワイズメンズクラブ Y's Men's Club

ワイズメンズクラブは1920年米国ハイオオ州トレードのYMCAで、会員増強活動の同志クラブとして発足。それが北米各地のYMCAに広がり、ワイズメン(Y'sMen=YのM)を共通の名称にしました。青少年育成団体である「YMCA」の活動を支援することを第一の目的として、地域・国際社会に奉仕する国際的なボランティア団体です。

第19回北海道YMCA チャリティパークゴルフ大会

2023年10月15日(日)に、第19回北海道YMCAチャリティパークゴルフ大会を札幌市南区にあるエルクの森パークゴルフ場で開催致しました。

今年もYMCAの会員とご友人、ワイズメンズクラブ会員を合わせて12名のご参加を頂きました。当日は天候に恵まれ、あたたかい日差しを浴びながら、紅葉も楽しんでプレーができました。結果はYMCAの元ドライバー尾家良一さんが7年振りの参加で優勝となりました。プレー後は、皆さんでジギスカンをいただき、とても楽しい1日が終了しました。

皆様から頂いたチャリティ(総額1万3千円)はハンディキャッププログラムの実施やボランティアリーダーの育成に使わせて頂きます。

来年はチャリティパークゴルフ大会の20周年の記念大会になるので皆様のご参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。



<会員大会実施報告>

去る11月3日に会員大会が行われ、事業報告・会員表彰・記念セミナー&トークセッションが行われました。

念講演は、「子ども・若者の居場所を作る～地域を巻き込んだ若者や子育て支援の取り組み～」というテーマで(一社)ソーシャルペダゴジーネットワーク代表理事の松田考さんより、青少年健全育成と困窮家庭への支援とのギャップにこそ「居場所作り」が大切であることと、その実践例のお話をいただきました。その後、松田さんの講演をもとに、参加者でトークセッションを行い、今私達が置かれている立場に照らし合わせて、これからの活動におけるヒントを得ることができました。

また、今回の会員大会における会員表彰につきまして、下記の通り授与者を報告致します。

北海道YMCA「奉仕の書」**八田 牧人さん**

八田牧人さんはYMCA会員として永年にわたり継続して会員活動を実践し、YMCAの働きを内外に知らしめ、YMCAを通じて神と人に奉仕し、同時にYMCAの働きに大きな貢献をされました。「奉仕の書」に、その氏名を記し永遠に保管し、感謝の意を表します。

前公益財団法人北海道YMCA評議員、常議員
前札幌YMCA教育センター委員会委員長
札幌YMCA英語・コミュニケーション専門学校講師

北海道YMCA「奉仕賞」**・加野 誠さん**

加野誠さんはYMCAのアウトドアクラブ、キャンプ、スキーグループで大活躍され、YMCAの働きに大きく寄与されました。奉仕賞を贈り、その氏名を永遠に「ユースリーダー奉仕の書」に記し感謝の意を表します。

日時:2023年10月24日(火)19:00~20:15
(火)19:00~20:15

場所:札幌YMCA総主事室+オンライン

出席者:【対面】小谷、北川、宮崎、本宮、安田

【web】小野(長)、秋葉、柴田、山崎

1. 11月例会について

日時:11月21日(火)18:30~20:30

場所:札幌YMCA101教室

卓話:ベトナムボランティアワークの旅報告

※卓話者:参加者の3名(佐藤・川口・伊藤)

特記:古賀北海道部長の公式訪問

2. 11月以降の例会卓話について(案)

▼12月:望年会例会、汝羊寮の学生を招待・交流

▼1月:新内鹿児島Y総主事

(チアダンス世界大会への道)

▼2月:本宮会員による卓話

(本宮さんの活動・ビジネスについて)

※12月望年会例会について、

10/20学Y例会に小野会長出席し汝羊寮学生

に声掛け済み。現在汝羊寮生10名在寮。

3. 時計台コンサートの準備について

1)補助金決定により、自由席に加えプラチナ席設定。

チケット作成済み。青色がプラチナ席×30席、自由席120席(白)

4)プラチナ席特典 共通特典:最前席に区画割

A 施設利用券(2200円相当)

B 本宮メン経営カフェの食事券(1500円相当)

5)プレイガイド10/31販売開始予定

チラシ10月28日頃完成予定 500枚

6)チケット割当 一人自由席10枚+プラチナ席2~3枚 ワイズ11名で分担

7)物販について、CD販売実施

ベトナムグッズ、募金については基本不可

4. ラッコ・マンボウ水泳発表会について

日程:11月23日(木)午前開催

開・閉会式での挨拶(小野会長)、コーヒースービス

備考:アイスコーヒースービス実施 9:30集合

参加予定:小野・小谷・柴田・宮崎・本宮

5. 北海道YMCA 会員大会について

日程:11月3日(金)13:00~15:00

場所:札幌YMCA(対面参加 or Zoom参加)

参加予定:宮崎・小谷・本宮

6. その他協議・検出事案

・幼稚舎クリスマス礼拝においてクリスマスカードを園児にプレゼントする。

・12/5(火)午前 札幌YMCA体育館

・小谷メンがサンプル作成 11月例会にて確認

7. 次回事務会 11月28日(火) 19:00~

記録:秋葉 縮小版作成:中田